



半田中央病院情報誌

半田中央病院だより

半田中央病院は令和3年2月1日より、地域に根ざした医療を目指し、地域包括ケア病棟を新たに開棟致しました。従来からある回復期リハビリ病棟57床と、今回新設となった地域包括ケア病棟の25床を合わせて、計82床の病院となりました。コロナ禍ということもあり、新棟の見学や、案内をすることができませんが、

半田中央病院の地域包括ケア病棟では、

- ①急性期病院での治療が終わり、再び自宅にもどるが、日常生活を送るには体力的にも不安があり、自信がない。
- ②以前からの障害や、病気を抱えている方や、ご高齢の方で、体調が悪くなり、自宅での生活の再設計が必要
- ③軽症の肺炎や、急性胃腸炎、脱水症、ケガなどにより家での生活が困難で、通院治療よりも入院が望ましい
- ④家で過ごす事はできているが、家族が看病・介護疲れ気味なので、しばらく休養させてあげたい(レスパイト)

主に以上の方々を中心に入院をお受けし、機能の回復、生活の再設計を目指して、職員一同日々患者様、ご家族様と関わらせていただいております。





半田中央病院 包括ケア病棟リハビリテーションについて

医師からのリハビリテーション処方の下、必要に応じて理学療法、作業療法、言語療法を行っております。退院後を想定し、自宅復帰後の生活リズムに合わせる目的で、日曜日は休息の日とさせて頂いています。入院中は患者様の全身状態やご自宅の生活を見据えて、適切なリハビリテーションを提供していきたいと思っております。

個別訓練 (リハビリテーション室、病棟訓練)

機能の向上を目的として、個別に訓練を行います。リハビリテーション室での訓練も行いながら、日常生活に合わせて病棟でも訓練を実施していきます。

(リハビリテーション室での訓練の様子)



(病棟訓練の様子)



集団訓練

退院後、デイケアなどで集団の中へ参加することを想定して、何名かの患者様と一緒に集団訓練を行います。体操・アクティビティなどを通して、身体機能・認知機能の維持向上を図ります。



環境整備の提案

退院後の生活でお困りの際は、必要に応じて自宅訪問し環境調整などの提案を行います。

自主訓練

退院後、ご自宅でも継続して行える機能訓練の指導を行います。

秋の食べ物

管理栄養士 安井純子

秋になると夏の暑さもやわらぎ、だんだんと涼しくなっていきます。

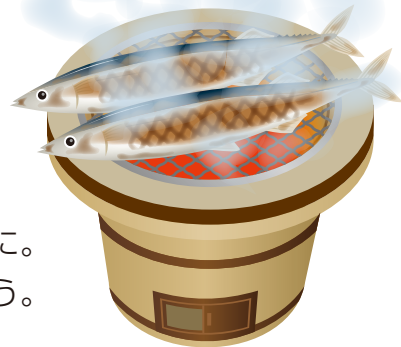
同時に湿度も低くなり、身体は夏の暑さから解放され、疲れも出やすい時期です。また、空気も乾燥するため空咳や便秘になりやすくなります。

五臓の内、「肺」を大切にしていきましょう。「肺」は酸素を体に取り込み、不要な二酸化炭素を出すことでエネルギーを作り出してくれます。

秋は「肺」に負担かかりやすい季節です。食べ物や生活にちょっと気を付けて冬に備え身体を整えていしましょう。

- ・「肺」の動きを支える食べ物: 豚肉・サンマ・サバ・牛乳
- ・身体を潤してくれる食べ物: 梨・チンゲン菜・きくらげ・落花生

アルコールや辛い物は身体の水分を乾燥させやすいので控えめに。
あとは軽い運動と十分な睡眠をとることも心がけていしましょう。



訪問リハビリテーション

令和3年3月から訪問リハビリテーションを担当している理学療法士の江川誠です。訪問リハビリテーションは、主治医の指示と居宅計画サービスに基づき、適正な訪問リハビリテーションサービス(動作訓練、住宅環境設定、介助方法のご提案等)を提供し、より良い日常生活動作の獲得を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるよう支援することを目的としています。いつも出来ていた事が出来なくなってきた、退院後の在宅生活に不安がある、自分の事はできるだけ自分でしたい、リハビリを受けたいけど通院が難しい…など、ご希望がありましたら、お気軽に御相談ください。



医療法人 メディライフ 半田中央病院

〒475-0017 愛知県半田市有脇町13-101

TEL. (0569) 20-2210 FAX. (0569) 20-2212

診療時間: 月～土(祝日を除く) 9:00～12:00(受付は8:30から)

診療科目: 内科・小児科・リハビリテーション科・脳神経外科・整形外科
回復期連携室

TEL. (0569) 20-2208 FAX. (0569) 20-2209

【併設事業所】

半田中央病院 在宅医療センター

TEL. (0569) 84-2230 FAX. (0569) 84-2237

デイリハビリセンター

TEL. (0569) 20-2217 FAX. (0569) 20-2237



<http://www.medi-life.jp>

